

2050 年テスト 実践ワークブック

三つの語彙、七つの問い、モニタリング、決定、再審査。

改訂英語版本文に準拠・資料の基準時点：2026 年 7 月・資料版 JA-R2.3

<https://www.corneritaliano.com/ja/2050/resources/>

A4 用紙に 100% で印刷してください。印刷して手書きで記入するか、Word 版を編集してください。事実、文書、バージョン、日付を記入します。空欄は根拠を記録するために意図的に設けています。

三つの統制語彙のマップ

モードはシステムが行使する権限を示します。各問いには回答の状態を付し、組織としての決定には全体として何を認可するかを記録します。これらの語彙を足し合わせたり、一つを別のものに自動的に変換したりしないでください。

区分	用語と意味	使用規則
システムのモード	支援—結果を選ばず、要素を準備し、整理し、見えるようにします。提案—適任者が変更または拒否できる選択肢を推奨します。決定—委任範囲内で結果を選びます。実行—サービス、現実世界、または権利に影響を及ぼします。	特定の業務と段階で行使される権限を表します。同じシステム内でも変わることがあります。
回答の状態	十分—明記されたバージョン、日付、範囲内でのみ決定を裏づけます。未解決—根拠、責任者、期限が必要です。阻止条件—その条件が変わるまで権限委譲を阻むか、利用範囲の縮小または利用停止を求めます。	七つの回答のそれぞれに状態を付します。
組織としての決定	進める—明記された範囲を認可します。範囲を限定して試す—範囲が限定され、可逆的で、停止可能な試行を認可します。委任しない—現在の状況ではその権限を委ねず、代替策とそのコストを記録し、再審査を予定します。中止する—すでに有効な認可を終了します。	全体としての選択を記録します。モードからも、回答が「十分」とされた問いの数からも自動的に導かれません。

テストから決定へ

段階	観察可能な状態に保つべきもの
1. テスト	目的、委任範囲、根拠、配分、損害、救済、離脱。根拠と、相殺できない条件。
2. 委任範囲	業務、モード、データ、関係者、場所、期間、処理量、記録、禁止事項、しきい値、停止権限。
3. ライフサイクルのモニタリング	バージョン、便益、例外、監督負荷、インシデント、救済申立て、残存能力、離脱テスト。
4. 範囲を限定する、離脱する、または中止する	条件が成り立たなくなったときは、委任範囲を狭め、縮退モードへ移行し、システムを別の手段に置き換えるか、利用を中止します。

重要 「支援」は「進める」と同じではなく、「十分」は肯定的な評価と同じではありません。モデル、データ、提供事業者、規模、業務、責任者が変われば、テストを再度実施します。

回答が「十分」となる場合と「阻止条件」となる場合

目的 — 必要性が観察可能で、受益者が特定され、改善の基準が明記され、最も介入の少ない代替策と介入しない場合のコストが比較されていれば「十分」です。掲げられた目的が「AIを使うこと」だけの場合、または異議を唱えられない人に負担を転嫁する経費削減だけの場合は「阻止条件」です。

委任範囲 — モード（支援、提案、決定、実行）とともに限界、説明責任を負う人、上位への対応要請経路が明記され、出力を再審査する人に、それを覆すための時間、専門知識、権限があれば「十分」です。「支援」と表示されたシステムが、誰も間に合ううちに覆せないために「決定」または「実行」として機能している場合は「阻止条件」です。

根拠 — 利用する文脈で性能が測定され、既知の限界が記録され、結果の対象となる人が、その結果を検証し異議を申し立てるのに十分な説明を得られるなら「十分」です。その文脈での性能が不明な場合、または結果の影響を受ける人に説明できない場合は「阻止条件」です。その根拠を得るために、外部への影響を伴わない終結済み事例や合成事例での観察を認可することはできますが、これは権限委譲ではありません。

配分 — 排除されている人や十分に代表されていない人も含め、誰が利益を得て、誰が時間、労働、リスク、権力の面で負担を負うかが収支に示され、統治のコストも算入されていれば「十分」です。利益が組織に帰属する一方、最も保護の弱い人にリスクが転嫁され、補償も異議を唱える手段もない場合は「阻止条件」です。

損害 — 起こり得る失敗が、深刻度、影響範囲、可逆性、損害発生までの時間とともに列挙され、警告、停止、封じ込めが損害の発生に先行するなら「十分」です。人が理解したり停止したりできる速さを超えてシステムが作動する場合、または起こり得る失敗が、影響を受ける人にとって不可逆的になる前に、認可範囲内で封じ込められない場合は「阻止条件」です。

救済 — システムが関与したことと何が起きたかが本人に伝えられ、理由を得られ、結果を変更する権限を持つ適任の再審査担当者に明示された時間内に到達でき、訂正が上流のデータまたは手続にも反映されるなら「十分」です。再審査が自動化されている場合、単に結果を繰り返すだけの場合、または変更権限がない場合は「阻止条件」です。

離脱 — 停止、取り消し、提供事業者の変更、代替策の選択が可能で、ポータビリティと相互運用性があり、離脱計画を予定に従って検証していれば「十分」です。拒否すると、釣り合いの取れた代替策がないまま雇用、医療、教育、不可欠なサービスを失う場合は「阻止条件」です。

「未解決」はその中間にあるすべてを指します。回答は存在しても一部が欠けており、その不足部分には説明責任を負う人と期限が定められています。

決定規則

回答の状態	利用前	利用中
一つでも「阻止条件」がある	委任しない	中止する
「阻止条件」はないが、一つでも「未解決」がある	可逆的な影響、説明責任を負う人、根拠、期限、停止の仕組みをあらかじめ明記したうえで、範囲を限定して試します。	可逆的な影響、説明責任を負う人、根拠、期限、停止の仕組みをあらかじめ明記したうえで、範囲を限定して試します。
すべて「十分」	条件と再審査日を定めれば「進める」が許されます。理由を示して「委任しない」を選ぶことも引き続き可能です	再審査日を維持したうえで「進める」が許されます

健康、自由、収入、教育、アイデンティティ、不可欠なサービス、安全に関わる場合、委任範囲、損害、救済、離脱についての「未解決」の回答は「阻止条件」として扱います。

2050 年テスト記入シート

記入シートで案件を特定し、七つの問いに答えた後、モニタリング、決定、再審査を記録します。日付を付した事実を記入してください。「十分」は明記した範囲内でのみ有効です。「未解決」については必要な根拠を示し、責任者と期限を定めます。「阻止条件」は認可範囲を狭めるか停止します。便益によって、救済、離脱、停止権限の欠如を相殺することはできません。

1 ページ - 最低限の記入シート	記入欄
問題、受益者、成功基準	
影響を受ける決定またはサービス	
システム、バージョン、提供事業者、主要な依存関係	
求めるモード（業務に応じて組み合わせ可能）	☐ 支援 ☐ 提案 ☐ 決定 ☐ 実行
必要なデータと禁止するデータ	
影響を受ける人々と保護が弱い集団	
許容できない帰結	
検証された理解可能性と使用した限界事例	
一時停止権限と縮退モード	
作成者、役割、決定責任者	
日付、再審査を開始する条件、予定終了日	
推定される損害発生までの時間	
測定された介入時間	
介入時間 < 損害発生までの時間？	☐ はい ☐ いいえ ☐ 未測定
導入しないコスト：誰が、どのくらい待ち、どのような損害を受けるか	
導入しないコストの状態	☐ 十分 ☐ 未解決 ☐ 阻止条件 この状態は見積りに付すものであり、目的、配分、損害の判断材料となります。八つ目の問いではありません。

七つの問い - 目的と委任範囲

1. 目的

どのような観察可能な問題に、誰のために、どの改善基準で取り組みますか？ より介入の少ないどの代替策と、介入しない場合のどのコストを比較しましたか？

根拠となる事実、文書、バージョン、日付：

回答の状態： ☐ 十分 ☐ 未解決 ☐ 阻止条件

理由、範囲の限界、根拠が不足している場合の責任者、期限、帰結（必要な停止措置も含む）：

阻止条件：是正措置 / 変更すべき条件 / 再評価： _____

2. 委任範囲

業務ごとに、システムは「支援」「提案」「決定」「実行」のどのモードで動きますか？ どのデータ、関係者、場所、期間、処理量がその権限の範囲を定めますか？ どの行為が禁止され、停止できるのは誰ですか？

根拠となる事実、文書、バージョン、日付：

回答の状態： ☐ 十分 ☐ 未解決 ☐ 阻止条件

理由、範囲の限界、根拠が不足している場合の責任者、期限、帰結（必要な停止措置も含む）：

阻止条件：是正措置 / 変更すべき条件 / 再評価： _____

七つの問い - 根拠と配分

3. 根拠

どの情報源、データ、その文脈での性能、限界、失敗事例が、その選択を裏づけていますか？ 理解可能性は、利用できる時間内に、通常の事例と限界事例を一つずつ用いて検証されましたか？

根拠となる事実、文書、バージョン、日付：

回答の状態： ☐ 十分 ☐ 未解決 ☐ 阻止条件

理由、範囲の限界、根拠が不足している場合の責任者、期限、帰結（必要な停止措置も含む）：

阻止条件：是正措置 / 変更すべき条件 / 再評価： _____

4. 配分

誰が便益、時間、権力を得て、誰が労働、リスク、物的コスト、研修負担、結果への異議申立ての困難を引き受けますか？ 是正中、また権限委譲が始まらない場合、その費用を負担するのは誰ですか？

根拠となる事実、文書、バージョン、日付：

回答の状態： ☐ 十分 ☐ 未解決 ☐ 阻止条件

理由、範囲の限界、根拠が不足している場合の責任者、期限、帰結（必要な停止措置も含む）：

阻止条件：是正措置 / 変更すべき条件 / 再評価： _____

七つの問い - 損害と救済

5. 損害

現実に関わり得る失敗にはどのようなものがあり、その深刻度と可逆性はどの程度で、修正が難しくなるまでにどれほどの時間がありますか？ 許容できないのはどのしきい値で、どのような修復がなお可能ですか？

根拠となる事実、文書、バージョン、日付：

回答の状態： ☐ 十分 ☐ 未解決 ☐ 阻止条件

理由、範囲の限界、根拠が不足している場合の責任者、期限、帰結（必要な停止措置も含む）：

阻止条件：是正措置 / 変更すべき条件 / 再評価： _____

6. 救済

結果の影響を受ける人は、理解できる通知を受け取り、訂正可能な事項にアクセスできますか？ その人は、結果の一時停止または変更を行い、理由を伝える権限を持つ適任の再審査担当者に、間に合ううちにたどり着けますか？

根拠となる事実、文書、バージョン、日付：

回答の状態： ☐ 十分 ☐ 未解決 ☐ 阻止条件

理由、範囲の限界、根拠が不足している場合の責任者、期限、帰結（必要な停止措置も含む）：

阻止条件：是正措置 / 変更すべき条件 / 再評価： _____

七つの問い - 離脱とモニタリング

7. 離脱

データ、権利、不可欠なサービスを維持したまま、システムを停止または別の手段に置き換えられますか？ 設定、アクセス権限、記録は再利用できますか？ 縮退モードは検証済みですか？ 最後の实地検証はいつ行われ、その費用を負担するのは誰ですか？

切り替えのコスト（時間、金銭）： _____

ポータビリティテストの実施日： _____

業務のうち引き続き手作業で行っている割合： _____

根拠となる事実、文書、バージョン、日付：

回答の状態： ☐ 十分 ☐ 未解決 ☐ 阻止条件

理由、範囲の限界、根拠が不足している場合の責任者、期限、帰結（必要な停止措置も含む）：

阻止条件： 是正措置 / 変更すべき条件 / 再評価： _____

ライフサイクルのモニタリングへ

モニタリング項目	更新内容
現在の委任範囲、モード、バージョン	
記入シートと比較した、観察された便益と損害	
例外、インシデント、救済申立て、是正	
監督負荷、研修、残存能力	
最後の離脱テスト：日付、結果、転嫁されたコスト	
範囲縮小または中止のしきい値に到達したか	
責任者と次回の再審査	

決定と条件

項目	決定と条件
組織としての決定	[] 進める [] 範囲を限定して試す [] 委任しない [] 中止する
理由	決定的な根拠、「阻止条件」とされた条件、導入コスト、導入しないコスト。
認可する範囲	業務、モード、データ、関係者、場所、期間、処理量。
禁止または人に留保する行為	人に割り当てたままにするもの、またはシステムの対象外とするもの。
開始前の条件	不足する根拠、責任者、期限、条件を満たさない場合の帰結。
モニタリング	指標、バージョン、例外、監督負荷、しきい値。
縮退モードと停止	継続するサービス、合図、権限者、最長時間。
救済と是正	窓口、決定責任者、期限、可能な変更、是正の反映範囲。
維持する代替策と「しない」コスト	権限委譲を始めない、または中止した場合に利用できる業務、サービス、手続。
再審査	日付、または前倒し再審査を開始する事象。前版から始め、根拠、しきい値、変更点を示します。
責任	氏名、役割、記録した異論、署名、日付。